

第3学年 社会科学学習指導案

1, 小単元名 「近所の店の工夫～たくさんのお客さんが来る, ○○○○○○○店の秘密～」

2, 小単元目標

- ○○○○○○○店の, 集客のための工夫や努力に興味を持ち, 意欲的に調べていくことができる。
(関心・意欲・態度)
- ○○○○○○○店の, 集客のための取り組みや工夫は, 客のニーズに答えていくためのものであることについて考えることができる。
(思考・判断)
- 調べ学習を通して見つけたことや, 自分の考えを分かりやすく表現物にまとめることができる。
(資料活用・表現)
- 自分たちの生活は, 地域の販売の仕事に携わる人々の工夫や努力に支えられていることを理解することができる。
(知識・理解)

3, 指導にあたって

○このような子ども達だから

1学期に子ども達は, ○○○校区の様子について学習を進めてきた。校区の“自然・建物・人”に焦点を当て, ○○○校区の特徴についてまとめていった。子ども達の中には, 学習時間のみならず, 休日に保護者とともに校区をまわり, 写真を取ってくるなど, 非常に意欲的な子どももいた。2年生で取り組んだ, “商店街でのお手伝い”と1学期の学習を通して, “○○○校区”に興味を深めてきている。

1学期の学習は, 子ども達の興味から調べていくことを決めたために, 意図的な調べ学習は行われていない。また, 学習問題をつくり, 調べる視点を決め, 全体で話し合い, 学習問題の答えをまとめるという一般的な学習過程での学習は行われていない。

子ども達は, 前小単元での“家の人の買い物の工夫”の学習を通し, 買い物の仕方には色々あり, それは, 各家庭の都合や考え方が表れていることを学習してきている。

○このような教材で

本小単元は, 地域には販売に関わる仕事があり, そこに携わる人々は, 客の多様なニーズを把握して商品をそろえるなど様々な工夫をしていること, それらの仕事によって, 自分たちの生活が支えられていることについて捉えることをねらいとしている。

○○○○○○○○店は, 校区のほぼ中心に位置し, 校区にあるスーパーマーケットの中では最も集客のよい店舗である。営業時間を, これまでの午後10時から24時間営業に変えるなど, 集客のための工夫を重ねてきている。また, 日本だけでなく, 外国からも品物を仕入れたり, 多種多様な品物をそろえるなど, 品数, 値段, 品質, サービスの4店から充実した工夫や努力に取り組んできている。

保護者へのアンケートの結果, 校区外での買い物が多く, 子ども達自身の買い物の経験も多いとはいえない。また, 2年生での経験から, “販売”の仕事に対する興味や意識はあるものの, 集客のための工夫や努力の意味や自分たちの生活とのつながるについては気付いていない。

このような子ども達に, ○○○○○○○店を通して学習を進めていくことは, 集客のための工夫や努力の意味や, 自分たちの生活との繋がりについて捉えさせていくうえで価値があると考えられる。

○このような指導で

【であう段階】

子ども達は自分で買い物に行った経験が少ないと思われるので, ○○○○○○○店に興味を持つことができるような出会わせ方の工夫をしていきたい。

一つめは, 校区内にある店を調べ, 校区地図に表していく。○○○校区には色々な小売店があることに気付かせ, その中でも○○○○○○○○店を利用している人が多いことへつなげていきたい。二つめは, ○○○○○○○店の外観や内部の様子の写真を提示し, どの店なのかを考えさせる。外観や中の様子を見せることでスーパーマーケットの大まかな様子を捉えさせるとともに, 学習計画づくりにもつなげていきたい。三つ目は, 1週間でどのくらいの買い物客が来るのか予想させる。1週間の具体的な数字を提示することで, 驚きを持たせ, 「○○○○○○○○店にたくさんのお客さんが来る秘密は何だろう。」という学習問題につなげていきたい。

予想を立てる場面では、予想を立てることができるようにするためにカード操作を行う。前小単元「家の人の買い物の工夫」での既習内容である、「家の人がその店を選ぶ理由」をカード化したものを準備し、そこからどんな予想を立てることができるか話し合わせていきたい。この活動を行うことで、うまく予想を立てることができなかった児童も、前小単元との繋がりが具体的になり、自分なりの予想を立てることができるものとする。

予想を交流し、学習計画を立てる場面では、予想の根拠を明確にしながら話し合わせ、「値段・品数・品質・サービス」の四つの視点にまとめていきたい。そして、〇〇〇〇の写真を提示し、どんなことを調べてくればよいのかを明確にさせていきたい。

【さぐる段階】

調べ学習を通して見つけた事実をきちんと整理させ、視点と事実がつながった考えを作らせていきたい。そのために、一つめは、見つけた事実をカードに一つずつ整理させていく。視点ごとにまとめるのではなく、一つずつの事実につき1枚のカードにすることで、見つけた事実をよりわかりやすく整理できるものとする。二つめは、視点と事実がつながった考えを作らせるために、モデルとなる事実を提示し、全体で、考えの作り方を学習していく。モデルには、①視点と事実がつながる場合・②視点と事実がつかない場合・③一つの視点に二つ以上の事実がつながる場合・④二つ以上の視点に一つの事実がつながる場合の4パターンを用意し、自分が見つけた事実の確認をさせるとともに、自分の考えづくりの参考にさせていく。

中間交流では、事実カードの数や内容等から意図的なグループを作り、グループ毎に表現物を作らせていく。表現物づくりでは、“自分たちの考えを分かりやすく伝えるためには、どんな表現物にすればよいか”という視点で話し合わせていく。資料や説明の検討を行わせ、①AまたはBのどちらかの資料が有効・②AとBの両方の資料を使用する・③新しいCの資料を用意するの三つのパターンの検討を行わせる。この話し合いを行わせることで、資料がより分かりやすくなり、それぞれの考えを分かりやすく伝えることができるようになるものとする。

【まとめる段階】

各グループ毎に、表現物をもとに、〇〇〇〇〇〇〇〇店の集客のための工夫について発表させ、それぞれの工夫に共通する、“客のニーズに応じていく”という部分に気付かせ、学習のまとめとしていきたい。

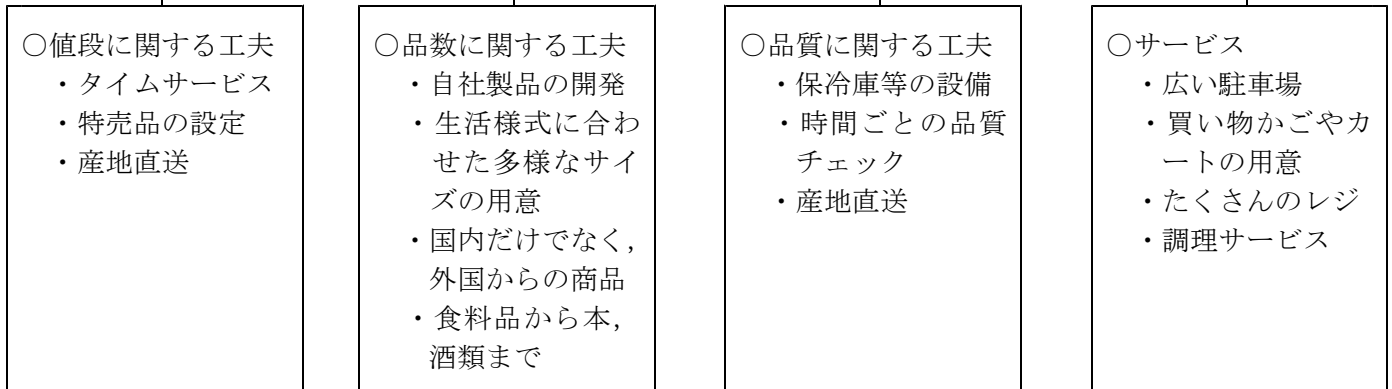
学習後に、まとめの表現物を作らせ、自分の考えの変容や、学習の広がりや深まりに気付かせていきたい。

4. 小単元構成図

【中核的事項】（児童に捉えさせたい内容）

地域にあるスーパーマーケットでは、たくさんのお客さんに買い物に来てもらえるように、様々な販売の工夫をしている。
また、私たちのくらしは、販売の仕事に携わる人々によって支えられている。

【基礎的事項】（具体的な内容）



5, 学習計画 (全 14時間)

過程	学習活動	配時	※表現物・○支援
つ か む	<p>1, 校区内にあるお店について話し合う。 ○店を分類し, どんな形態の店があるか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚屋, 八百屋のような個人商店 ・○○○○のようなスーパーマーケット ・○○○○のようなコンビニエンスストア <p>○○○○○○○○店に買い物行った経験を振り返り, どんな店なのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店内の様子 ・商品の様子 ・働く人の様子 <p>○○○○○○○○店に買い物に来た人の数を調べ, 学習問題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習問題</p> <p>○○○○○○○○店に, たくさんのお客さんが買い物に来る秘密は何だろう?</p> </div>	1	<p>○校区地図に, 色別に印を記入していくことで, 店の形態や校区内にたくさんの店があることに気付かせる。</p> <p>○イメージをふくらませやすくするために, 店内や外の様子の写真を数枚掲示する。</p>
	<p>2, 予想を話し合い, 学習計画を立てる</p> <p>○自分の予想を立て, 表現物にまとめる。</p> <p>(A 1)</p> <p>◎カード操作を行い, 予想の立て方を学習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの買い物の経験を振り返る ・家のお母さんの買い物を振り返る ・家のお母さんの買い方や, 自分の買い方の観点のカードから, 学習問題とつながりそうなカードを選び, 繋がり方を考える <p>(B 1)</p> <p>◎自分の予想と考えを表現物に表す</p> <p>○表現物をもとに予想を話し合い, 学習計画を立てる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">安くする</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">品数を増やす</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">駐車場をつくる</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">調理法を教える</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">広告を作る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新鮮な品物</div> </div>	2 ① (本時)	<p>※カード操作</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">値段のことを考えて買い物をしている</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">一度に買い物をすることができる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">仕事の帰り道に買い物をする</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">週に一度、まとめ買いをする</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; color: red;">私のお母さんは広告で値段をチェックしているよ。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; color: red;">買い物は一度にすませたいと言ってたよ。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; color: red;">忙しいから毎日買い物に行けないし、たくさん買うから大変そう。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">安くする</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">品数を増やす</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">駐車場をつくる</div> </div> <p>※B 1の表現物</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>学習問題: <input type="text"/> 店に, たくさんのお客さんが来る秘密は何だろう?</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">値段のことを考えて買い物をしている</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">家のお母さんは、新聞の広告をよく見ている</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">一度に買い物をすることができる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; height: 40px;"></div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; color: red;">私のお母さんは広告で値段をチェックしているよ。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; color: red;">買い物は一度にすませたいと言ってたよ。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>値段を安くして、たくさんの品物を準備する</p> </div> <div style="border: 2px dashed red; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>・ <input type="text"/> 店では, どのようにして安く売っているのかを調べる。</p> <p>・ どのくらいの品物があるのかを調べる。</p> </div> </div>

視点

- ・値段についての工夫
- ・品数についての工夫
- ・品質についての工夫
- ・サービス

どのように安くしているのか、どうやってたくさんの品物を準備しているのか調べよう。

- 3, 学習計画に沿って調べ学習を行う。
- 文書資料, インターネット等を使用し調べ学習を行う。
 - それぞれの店へ見学に行き, 調べ学習を行う。
 - 調べて見つけたことを, 事実カードにまとめる。

る

○事実カードをもとに, 自分の考えを表現物にまとめる。

(A2)

◎表現物へのまとめ方を学習する

※全体でのモデル作成

- ・事実と視点がつながる
- ・事実と視点がつながらない
- ・一つの視点に二つ以上の事実をつなぐことができる
- ・二つ以上の視点に, 一つの事実をつなぐことができる

※予想の交流後に書き込ませる

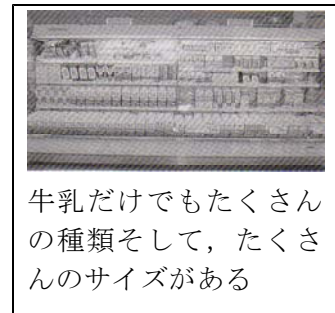
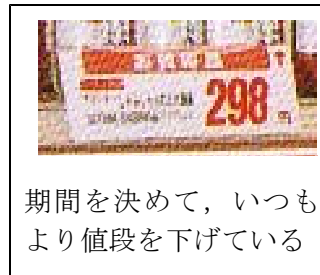
6

①

②

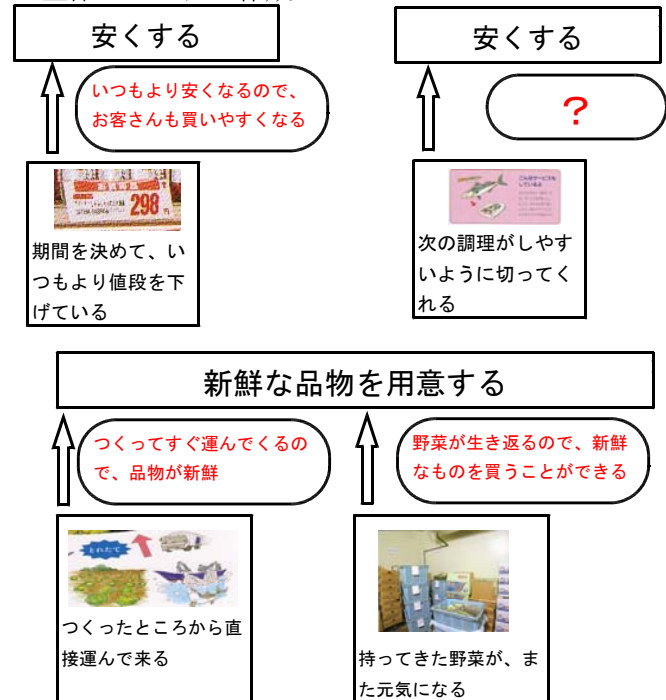
①

※事実カード



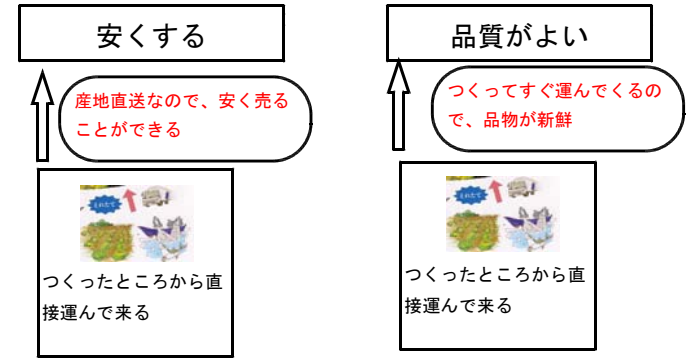
①

※全体でのモデル作成

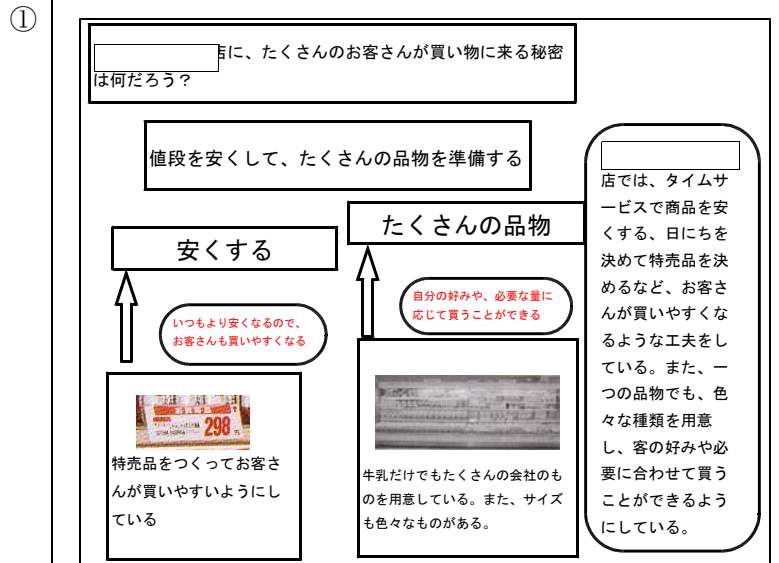


(B 2)

◎自分の表現物を作成する



※B 2 の表現物



／ 4, 視点毎のグループで発表計画について話し合う。

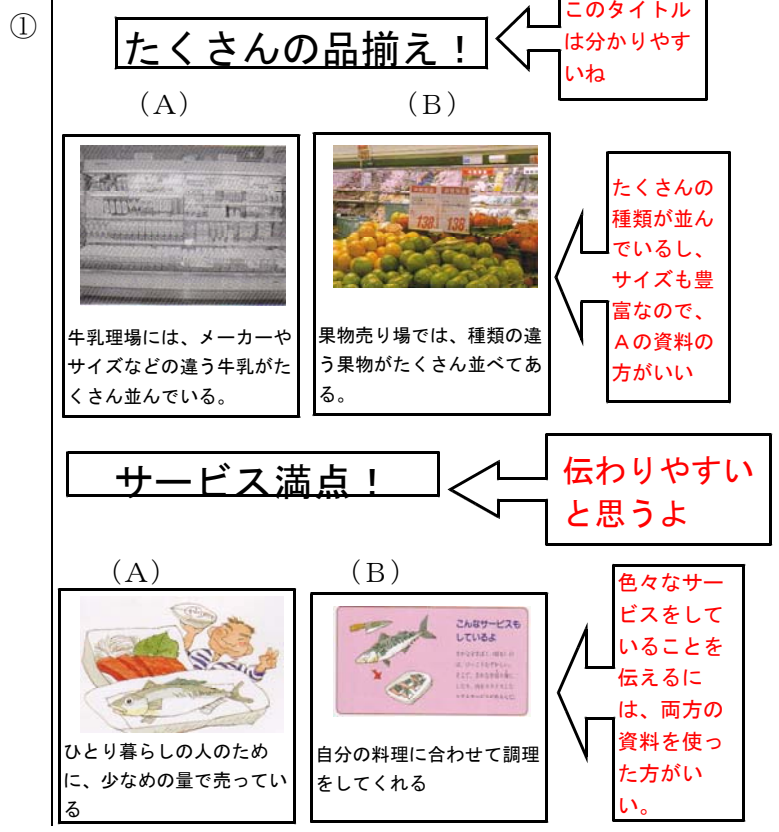
(A 3)

◎グループ毎に発表資料の検討を行う
※モデルを使って全体での話し合いをした後に、各グループでも話し合いを行う。

- ・見つけた事実・自分の考え・タイトル発表と検討（整合性）
- ・分かりやすく伝えるための資料や説明の検討

(A or B, A+B, 新しいCが必要)
↓
(調べ学習へ)

3 ○活発な話し合いにするために、話し合いの進め方を配布する。




(B3)

◎再調査活動を行い、グループ毎に表現物をつくる

「」だけでしか買えない!

もう少し分
かりやす
いもの
はないか
な



「」オリジナルのパンを作っている


これだけでは分
かりにくい
ので、他に
も「」で
しか買えない
商品調べて
表にすると
分
かりやす
いんじ
ゃないか
な。

○それぞれの視点からモデルとなる事実を選択し、グループ毎の表現物づくりに活かしていく。

※B3の表現物（グループ毎に作成）

安く買える「」店

↑ ↑ ↑

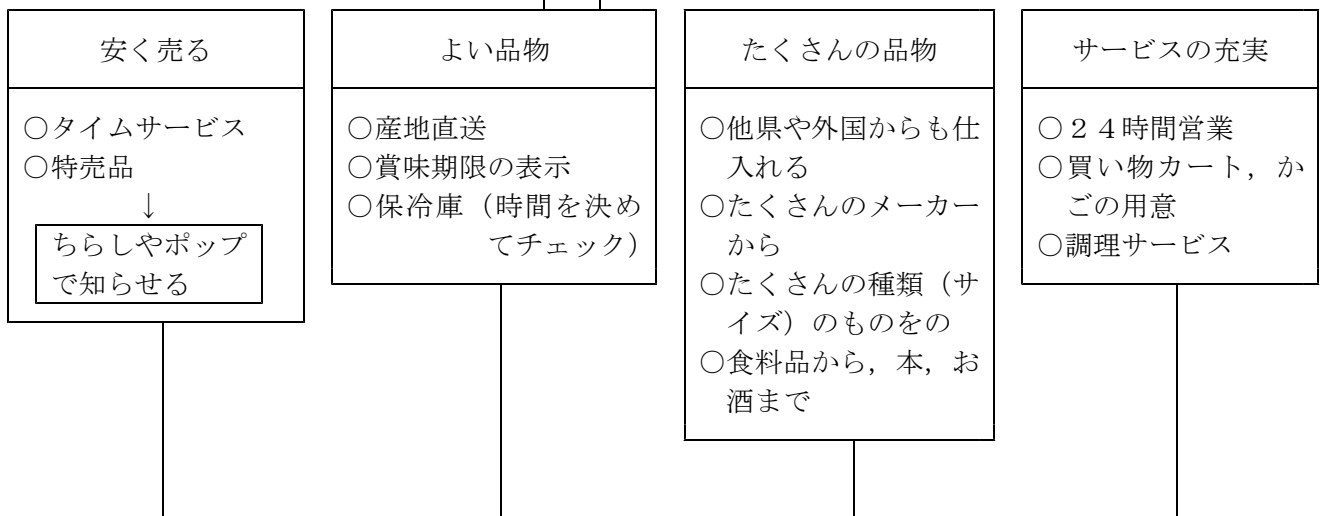


↑ ↑ ↑

値段の工夫に関するもの 値段の工夫に関するもの 値段の工夫に関するもの

「」では、タイムサービスを行う、特売品を決める、産地から直接はこぶなど安く買うための工夫をたくさん行っている。そして、広告を作りこのことを知らせ、たくさんのお客さんに来てもらえるようにしている。

5. 全体交流を行い、学習問題についてまとめる。(A4)

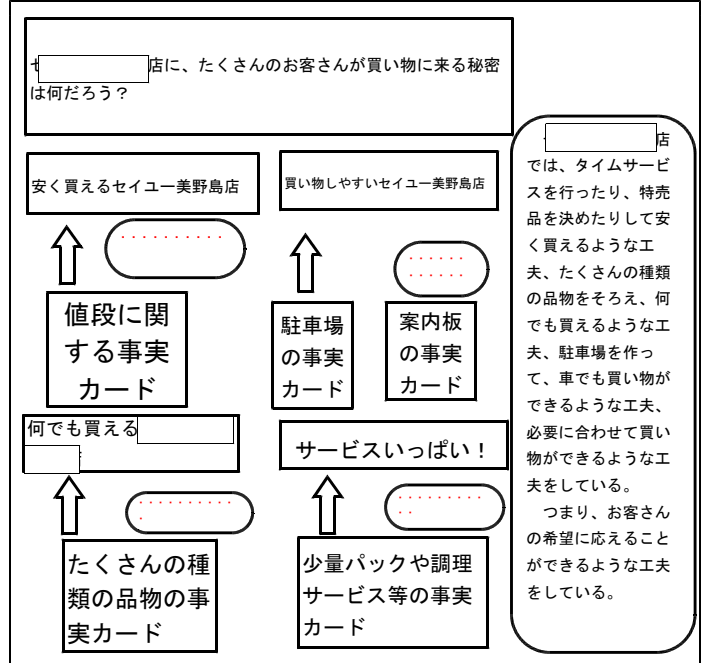


〇〇〇〇〇〇〇店では、値段、品質、品数、サービス等の面からた

くさんの工夫をしている。これらの工夫は、どれも、お客さんが買いやすいように、お客さんが欲しいと思うようなことに答えていく工夫である。このように、お客さんのことを考えた工夫や努力に取り組んでいるからたくさんのお客さんが買い物に来る。

6, 学習のまとめとして、個人の表現物を作成する。(B 4)

1 ※B 4 の表現物



○B 2, 3の表現物づくりに使えなかった事実カードが使えないか検討させる。

6, 本時 2 / 14 平成18年10月3日(火) 5校時

於 3年1組教室

7, 本時目標

- 前小単元の既習内容や、生活経験をもとに、根拠を明確にした予想を立てることができる。

8, 本時指導の考え方

本学級の児童は、1学期の社会科の学習を通して、地域の様子に関心を持ち、地域は様々な人々から成り立っていることに気付いている。

しかし、学習問題に対して、既習内容や生活経験をもとにしながら、根拠を明確にした予想を立てたり、自分の学習計画に沿って調べ、そこから自分の考えを表現していくというような学習はまだ不十分である。

本時は、学習問題「○○○○○○店に、たくさんのお客さんが買い物に来る秘密は何だろう」に対する予想を立てる場面である。」予想を立てる際、単なる当てずっぽうの予想を立てるのではなく、根拠を明確にした予想を立てさせていきたい。そこで、次のような授業仮説を設定し、学習を進めていきたい。

〈つかむ段階〉学習問題に対する根拠がはっきりした予想を作るための表現活動

学習問題に対する予想を立てさせる際、これまでに学習した内容や、知識を教師がカード化したもの(写真・キーワードなど)を提示し、具体的操作(つなぐ・選択するなど)をさせながら集約させるような話し合いを行えば、ここの子どもが、はっきりした根拠を持つ予想を立てることができるであろう。

《本時検証の視点》

- ① ヒントカードに使った前提となる事実が、根拠を明確にさせるために有効であったか

前小単元「家の人の買い物の工夫」を通して身につけた知識【家の人がその店で買い物をする理由】と、前時までの獲得した知識【○○○○に対するイメージ(写真)】を予想を立てる際のヒントにしていく。この知識を提示することで、根拠を明確にした予想を立てることができたかについて検証していく。

- ② ヒントカードを使ったカード操作が、予想を立てさせるために有効であったか

予想とその理由の考え方を捉えさせるために、どのヒントカードからどんな予想と理由を考えることができるのか、具体的なカード操作を行わせる。また、個人での予想作りの前と間に、全員でのサンプル作りの話し合いと、モデル児童の予想についての話し合いを入れていく。このようなカード操作を行ったことで、予想や理由の作り方を捉えることができたかについて検証していく。

具体的には、まず、前小単元の学習内容を振り返らせ、家の人が買い物をする際のポイント(値段のことを考えている・品物の種類を考えている・よい品物かどうか考えている・一度に買えるかどうか考えている・仕事の帰り道にある・他)を考えさせる。これらのポイントは予めカード化しておき、提示していく。次に、前時までに使用した○○○○の写真を提示し、買い方のポイントと売り手の工夫の関係を意識させる。

予想作りでは、まず、教師が選択した1枚のヒントカード(家の人が買い物をする際のポイント)を手がかりにしながら、どんな予想を考えることができるか話し合う。この活動を行うことで、事実(ヒントカード)と自分の予想とのつなぎ方を捉えることができ、根拠を明確にした予想を立てることができる。次に、児童の中からモデルを選び、どんな予想を立てたか発表させる。このときのモデルは、“1枚のカードを選んで予想を立てている・複数のカードをつないで予想を立てている”等が考えられる。この活動を行うことで、なかなか予想を立てることができない児童が予想を立てることができたり、予想を立てていた児童も、自分の予想をもう一度見直したりすることができる。と考える。

私の家では、毎週休みの日にまとめて買い物を
するから、全部買える店がいい。[]で
も、たくさんの種類の品物を用意しているんじ
ゃないかな。

たくさんの品物を用意する

②のパターン

値段のことを考
えている

よい品物を選ん
でいる

ぼくのお母さんは、値段も大切だけど新鮮さも
大切だと言っていました。だから、“値段”と
“よい品物”の二つとも大切じゃないのかな。

安くて、いい品物を売っている

○モデル児童を参考にしながら自分の
予想を考えたり見直したりする。